



パーゴラと打ち水で涼をとる ～「やまとまちあから保育園」～



全国に55基に増えた「そらべあ発電所」ですが、それぞれの保育園、幼稚園では、太陽光発電施設を設置した後も、園独自のアイデアでエコアクションや環境教育に力をいれているところが多いようです。そんな活動をみなさまに紹介し、活動の交流の場にしていきたいと考え、新たにエコアクションの紹介コーナーを作りました。

第1回は宮城県仙台市の「やまとまちあから保育園」です。早速、高橋慎弥事務長にインタビューをしました。

同保育園では夏の暑さ対策に“パーゴラと打ち水”を活用しています。パーゴラはイタリア語で「ぶどう棚」のことで、つる性の植物をはわせたり、布をかけることによって日陰が生まれます。園ではロール式の日よけを使って、暑い時期だけ日陰を作っています。



日陰になったテラスの床は、打ち水をすると、気化熱でまわりの温度が下がり、風がある日は涼しい風が園内に入ります。同園ではこれを子どもたちと一緒にやりますが、「水遊び感覚で、子ども達も楽しんでやってくれますよ」と高橋事務長は話してくれました。

「パーゴラと打ち水の合わせ技で、とても涼しく、風があればエアコンいらずです」(高橋事務長)と、効果も感じられているようです。

今年の夏も暑さが厳しいようです。子どもたちと楽しみながらできるエコアクションで夏を乗り切りたいですね。今後もさまざまな取り組みを紹介していきますので、お楽しみに。



Shinzi Katohの台湾での展覧会についてのお知らせ

そらべあサポーターズクラブのみなさま、こんにちは。今回はそらべあキャラクターの生みの親である加藤真治先生の台湾での展覧会をご紹介します。

これは、アジアをはじめ世界で活動するデザイナーShinzi Katohの創作活動45周年を記念して、台湾第二の都市、高雄市で実施されるものです。

展覧会は、加藤先生の作品「赤ずきん」をテーマに展開され、赤ずきんちゃんと一緒に電車に乗って、幸せいっぱいのお菓子の家を探しに行くという楽しい企画です。

加藤先生は、台湾の雑誌「潮人物」で紹介されたり、メジャーなキャンペーンにそのキャラクターが使われたり、注目度が高まっています。中でも「赤ずきん」は台湾での一番人気。たくさんの方の方が訪れるのではと予想されます。

昨年12月には先生の絵による絵本「そらべあ はじめての だいぼうけん」が台湾と韓国で翻訳出版されました。地球温暖化が進み、アジアでもそらべあへの関心が高まっているようです。



「小紅帽火車童話之旅」

開催日 2016年7月8日(金)～9月25日(日)
10:00～18:00(入場は17:30まで) ※休館日なし
場 所 台湾の高雄市(高雄駁二P2倉庫)
住 所 臺灣高雄市鹽埕區大勇路1號
U R L www.shinzikatoh.com/publics/index/7/

そらべあサポーターズクラブ

プレミアムサポーター：ソニー損害保険(株)
オフィシャルサポーター：ソニー生命保険(株)、ソニーマーケティング(株)、(株)Forchile
サポーター：(株)NTTスマイルエナジー、KDDI(株)、(株)ソニー・ピクチャーズエンタテインメント、(株)毎日新聞社

応援団：6社
個人・ファミリーサポーター：24名
(2016年5月31日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。



そらべあ便り vol. 27

2016年6月発行
編集：箕輪弥生

NPO 法人そらべあ基金
〒105-0004
東京都港区新橋2-5-6
大村ビル8F
TEL：03-3504-8166
FAX：03-5157-3178
<http://www.solarbear.jp>

そらべあ便り

Sorabear Newsletter | Vol.27



GO!GO!
おひさま発電
そらべあ発電所、
55基に。



www.solarbear.jp

©Shinzi Katoh

新たに2基の「そらべあ発電所」が誕生、合計55基へ

この春、新たに2基の「そらべあ発電所」が完成しました。選ばれたのは兵庫県西脇市の「ひよこ保育園」と鹿児島県鹿児島市の「ユズリ葉の杜保育園」の2カ所です。

3月16日に「ひよこ保育園」で行われた寄贈記念式典では、64名の子ども達が参加しました。この太陽光発電設備は、ソニー損保株式会社のご支援で設置しました。同社では、従来より、保険契約時の予想年間走行距離が下回った場合に環境に貢献したとして、予想から下回った距離100kmにつき1円をそらべあ基金に寄付していただいております。今回の寄贈園を含めて17基を寄贈していただきました。

式典では、エコアクションの1つ“ものを大切に使う”ことを、保育園にある一番古い絵本を見せて説明しました。30年前からあるその絵本は保育園で長年子どもたちに読み続けられてきた大事な本

です。いいものを長く使うことは、資源の無駄使いをせず、エネルギー消費の削減にもつながります。

4月12日には、鹿児島県鹿児島市にある「ユズリ葉の杜保育園」で式典が行われました。こちらはソニー生命保険会社による支援で寄贈されました。太陽光パネルは、園の屋上に設置され、年間消費電力の約8%にあたる3755キロワット時を発電します。

約90名の全園児さんが参加した式典では、TV局3社と新聞社2社が取材に来るなどにぎやかに行われました。式典で子どもたちと一緒に行った手回し発電の体験では、電気を作る大変さ、電気の大切さを伝えました。

そらべあ基金では、今後も全国の幼稚園、保育園に「そらべあ発電所」の輪を広めながら、子供たちが環境への関心を高め、実践していくよう活動していきます。

鹿児島県鹿児島市
ユズリ葉の杜保育園



兵庫県西脇市
ひよこ保育園



「学びのフェス2016春」に出展

そらべあ基金は3月29日、千代田区の科学技術館で行われた「毎日新聞社・毎日メディアカフェ 学びのフェス2016春」に出展しました。このイベントは小学生を対象に、環境や食などをテーマに各企業やNPOが出前授業を行うもので、年々参加者も増え、今年は親子連れなど約2,500人が参加するなど盛況でした。

そらべあ基金のブースでは、地球温暖化と自然エネルギーをテーマに実施。合計で40名の小学生が参加しました。

地球温暖化については、北極の氷が溶けて面積が小さくなっていることなど、わかりやすい事例をあげながら説明をしました。

また、地球温暖化の要因のひとつであるエネルギー問題についても、子どもたち自身に考えてもら

う工夫をしながら進めました。自然エネルギーの種類について聞くと「太陽光」、「風力」などの答えが返ってきました。中には「バイオマス」「波力」など頼もしい答えもありました。

説明の後は、みんなで「太陽光パネル付きのLEDライト」を組み立てました。ライトのシェード作成には株式会社シール堂印刷から提供いただいたマスキングテープを使用し、そらべあ柄のシェード作りを楽しみました。

今後もそらべあ基金では、このような学びの場を通じて地球温暖化や自然エネルギーについて子どもたちにわかりやすく伝えていきたいと考えています。

「学びのフェス2016夏」も出展予定ですので、是非お子さんと一緒にご参加ください。

「学びのフェス2016春」の様子はこちらの動画から見られます
www.youtube.com/watch?v=q-6mOv4ko0k



東京造形大学の学生による「そらべあ環境ワークショップ」実施

東京造形大学と協力して行う「そらべあ環境ワークショップ」が、4月18日に東京都北区「赤羽幼稚園」、5月6日に神奈川県横浜市青葉区「みたけ台幼稚園」の両園で実施されました。

このワークショップは、同基金の理事でもある東京造形大学の山際康之教授との協働で行っているもので、2010年から始まりました。

ワークショップでは、そらべあの人形劇と歌、踊りを通じて、子どもたちに地球の環境問題や、子どもたちができるエコアクションをわかりやすく伝えます。今回の活動は日本風力開発株式会社と株式会社東急ハンズの寄附により開催しました。

このワークショップ、構成や台本、舞台で使用するパペット（線り人形）や小道具、歌、踊りなどすべてを学生が企画し、手作りをしています。今年で8年目ですが、過去の先輩たちのやり方などを引き継ぎながらも、毎年新たな工夫も加わり、伝え方や構成も進化しています。

中でも今回のワークショップで印象に残ったのが、伝えるのが難しい地球温暖化について、「温かい空気」など簡単な言葉を用いて子どもたちにわかりやすく説明していたところです。今後も学生たちがどんなワークショップを実施するか楽しみです。





©Shinzi Katoh

7

8

9

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

31

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

SUN MON TUE WED THU FRI SAT

					1	2	3
4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	
18	19	20	21	22	23	24	
25	26	27	28	29	30		